



〈H30. 7. 28～29 開催講演会感想〉

【1 日目】

今回、畿央大学 健康科学部 理学療法学科 教授 森岡 周先生をお招きして講演会を行いました。今回の講演会も 2 日間によるもので、1 日目のテーマは「半側空間無視と身体性の研究動向について」お話していただきました。脳卒中後起こりうる半側空間無視は、臨床現場においてその治療方針、治療経過、予後などを考えるうえで難渋するセラピストがほとんどだと思います。また、身体性（身体性認知）についても中枢疾患、運動器疾患、精神疾患問わず臨床現場において、身体性の変容による運動～ADL 障害や言語記述は多く遭遇し、また、頭を悩ませる課題だと思います。

1 日目の森岡先生の講演を聞いて実感したことは、現象とメカニズム（サイエンス）を基にした思考を基盤にいかにおこなうことができるかを改めて痛感したことです。様々な治療手段や戦略がある現在、患者の回復を謳うのには、治療理論を先に思考し症状の回復や行為を遂行できたとして患者の幸せを考えるのか。現象やサイエンスから紐解いたうえでさらに、身体性としては患者の価値観を考慮し、自分らしさ、自分の人生として「能動的な」回復や行為を遂行できたのかがいかに重

きました。障害からの回復だけではなく、身体性、また回復（学習、成長）においては社会的な側面、組織的な側面でも人間社会で同じだということを知ることができました。3 時間という限られた時間で得ることができた講演内容は、これからの臨床に役立つ知識と思考を多く教えていただけました。このような貴重な講演をして頂き本当に感謝しています。心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

理学療法科 9 期卒 山田 慧太

【2 日目】

2 日目は「脳卒中後運動障害の改善のために」をテーマとした講演でした。講演内では課題指向型練習と Transfer Package を中心に段階付けした目標設定や、報酬と学習について実体験も踏まえながらわかりやすく話ししてくださりました。仕事をしている中で、脳卒中後の麻痺の重度な事例や長期化している事例に対して、麻痺手の生活へ汎化を諦めてしまい生活しているケースは少ない印象を受けています。設定の方法と難易度、どのタイミングで難易度を上げていくのか、環境設定などの決定、生活内での麻痺手の使用を促していく話は圧巻でした。今回、急遽 2 日間続けた講演ではありましたが、快く引き受けて下さり、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

作業療法士 10 期卒 藤田 真徳

〈アンケート結果〉

1. 本日の講演会について

- ・森岡先生の脳科学の運動イメージ慢性疼痛に関する講演をきくことができよかったです。
- ・研究結果など要所で教えてくれたため大変興味深く聞けました。
- ・脳、神経学から上肢操作の改善について必要な刺激方法を改めて知り臨床で活かそうと思った。
- ・講演内容理解に苦戦する場面もあった。森岡先生のおかげでイメージし易くなった。

- ・短時間の中で講義していたので内容が盛りだくさんで理解するのが追い付かなかったです。
- ・今回の講演会で聞いた内容を基に今後自分なりに学習を進めて理解を深めていきたいです。
- ・竹林先生の講演を聞けなかったことは残念でしたが、森岡先生の講演を2回きくことができとても充実した2日間でした。
- ・様々な研究動向についても知ることができました。トランスファーパッケージの目的について理解を深めることができました。

2.同窓会の運営について

- ・会の進行はスムーズでしたか？

【1日目】はい 80 いいえ 2

【2日目】はい 63 いいえ 2

- ・日程、時間は適切でしたか。

【1日目】はい 70 いいえ 15

【2日目】はい 62 いいえ 3

※その他お気づきの点、ご意見、ご要望がありましたら記載して下さい。

3.今後の講演会について

【1日目】

- ・全道 PT 学会との日程が被っていた。
- ・始まる時間が少し遅い。
- ・講演会の時間が短い。
- ・受講申請した事を知らせるメールがほしい。
- ・金額等を含めて連絡がなかった。
- ・外部参加の為、方法が適切か分かりません。
- ・協会ホームページや PT・OT・ST に記載されていると情報を得やすいまたは、同窓会の人から病院へ広めて情報を欲しい。
- ・質問は休憩時間に紙で集めて先生にいくつか答えてもらうはどうでしょうか。より質問が出やすいかと思えます。

【2日目】

- ・facebook 行っていない為、案内がわからない。
- ・LINE でもいいかもしれない。

※講演会に呼んでほしい講師や、同窓会で行ってほしい内容を記載して下さい。

【1日目】

分野：全て一票

循環 呼吸 その他(BINI リハ栄養 車椅子シーティング 実技含めた講演)

【2日目】

整形：16 中枢：34 精神：5 循環：8

呼吸：14 生活：22 癌：5

その他または行ってほしい内容

《終末期・認知症・神経筋疾患・心疾患・自動車》

※呼んでほしい講師

【1日目】

高橋哲也先生、草木薫先生、山本伸一先生(Activity)、山本秀一朗先生(脳画像)、阿部浩朗先生、道免和久先生、富田昌夫先生、斉藤祐樹先生、春名弘一先生(脳卒中の装具療法、歩行トレーニング)、寺岡睦先生、京極真先生

【2日目】

高橋仁美先生、道免和久先生、山田勝先生、越後先生、竹林崇先生、森岡周先生、石川悠加医師・三浦俊彦先生(国立八雲病院)、澤田辰徳先生、高村浩二先生、工藤慎太郎先生

4.同窓会主催の講演会・症例検討会についてご意見があれば記載して下さい。

- ・実際の症例を例にした評価→治療などの流れまた違う内容で森岡修先生に来て欲しい。
- ・森岡周先生の講演を聞きたい。
- ・運動発現のメカニズム
- ・子ども、人間発達からみた脳血管リハの考え方
- ・患者様をしっかりとみられるように頑張って勉強しようと思いました。
- ・OBP の内容
- ・高齢者の運動療法
- ・今回の講演会の中で発達、コミュニケーションといった話が出ていたのでその方面の先生の話が聞きたいです。
- ・役員の皆様、お疲れ様でした。今後の講演会の開催も期待しております。

5. ご講演写真



<編集後記>

晩夏の候、皆様にはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。

今回の講演会に参加して頂いた皆様、アンケートへのご協力ありがとうございます。また2日目の内容変更後も参加して下さい下さった方々、急なご講演を行って下さった森岡先生にスタッフ一同、感謝を申し上げます。

今回のご講演はいかがだったでしょうか。1日目は「半側空間無視と身体性の研究動向について」2日目は「脳卒中後運動障害の改善のために」というテーマで森岡周先生にご講義をして頂きました。普段の臨床での思考の手助けとなり、有意義になったのではないかと思います。

さて同窓会は講演会を3回(夏・秋・冬)と講師の先生をお招きして講演を開催する予定でしたが、今年度の同窓会主催の講演会は今回講演会の他、冬の講演会のみとなります。現在ご講演内容は検討中であり、内容が決まり次第ご連絡したいと思います。冬の講演会も皆様のご参加をお待ちしております。

編集者：吉村小雪 高田ゆう 佐々木浩嗣